

お客様各位

外務省より、下記の通り渡航情報が発せられました。「渡航の是非を検討してください」に関しましては、外務省渡航情報によりますと比較的治安は安定しているとの事ですが、弊社と致しましては現地の最新の情報を入手し、十分に安全確認をした上で旅行を実地致します。状況が悪化した場合はご連絡させていただきます。尚、お手配旅行・自由行動（旅行）中は十分ご注意下さい。

【主催企画】

(株)ピーエス観光
(国土交通大臣登録旅行業第 347 号)
〒150-0004 東京都港区新橋 3-2-7
 恭和ビル 4 F
TEL: 03 - 3502 - 4022

【お申込み】

(株)エアークリスタル
(東京都知事登録旅行業代 3-5400 号)
〒160-0018 東京都新宿区須賀町 1 番地
 サントピア四谷 1 F
TEL: 03 - 5368 - 0951

パキスタンに対する渡航情報（危険情報）の発出（2008/05/30）

北西辺境州ペシャワル市（イスラマバード市とペシャワル市間の主要幹線道路を含む）:

「渡航の是非を検討してください。」（引き下げ）

イスラマバード首都圏、北方地域（管理ライン付近、アフガニスタンとの国境付近一帯を除く）:

「十分注意してください。」（引き下げ）

パンジャブ州：「十分注意してください。」（継続）

1. 北西辺境州ペシャワル市（イスラマバード市とペシャワル市間の主要幹線道路を含む）:「渡航の是非を検討してください。」
ペシャワル市では、2007 年に入ってから、警察官に対する自爆テロ（1 月）、赤十字国際委員会駐車場での自爆テロ（2 月）、ビデオ店爆破（3 月、7 月、9 月、10 月）、空港内ラウンジでの爆発（4 月）、旧市街に所在するホテルでの自爆テロ（24 人死亡・20 人以上負傷、5 月）、市近郊での中国人襲撃事件（3 人死亡・1 人負傷、7 月）、バザール付近駐車場での爆弾爆発（17 人以上負傷、9 月）などが発生しました。2008 年 1 月には宗派間抗争によると考えられるモスクでの自爆テロ（10 人死亡、20 人以上負傷）や近郊でのビデオ店爆破事件などが発生しています。
しかしながら、2 月の総選挙前までの状況に比べ、テロ事件等の発生は顕著な減少傾向にあり、治安状況の改善が認められることから、これまでペシャワル市に発出していた危険情報を「渡航の延期をお勧めします。」から「渡航の是非を検討してください。」に引き下げます。なお、ペシャワル市は FATA に隣接し、また、ミリタントの活動が活発な北西辺境州西部、南部とも隣接していますので、隣接している地域の治安情勢にも注意する必要があります。

2. イスラマバード首都圏、北方地域（管理ライン付近、アフガニスタンとの国境付近一帯を除く）:

「十分注意してください。」

(イ) イスラマバード首都圏

イスラマバード首都圏では、2007 年 7 月、ラール・マスジット（赤いモスク）事件で多数の死傷者が生じた後も、外国人も利用するアップラ・マーケット付近での自爆テロや、政治集会をねらった自爆テロが発生し、多くの死傷者が出ましたが、その後、特に 2008 年 2 月の総選挙後、治安は小康状態を保っています。一方で、同 3 月、市内中心部にある外国人がよく利用するイタリア・レストランで爆弾が爆発し、1 人死亡、日本人 2 人を含む 15 人以上が負傷する事件が発生していますので、引き続きテロに対する注意が必要です。

また、イスラマバード市街地では、強盗、窃盗事件や銃発砲事件などの一般犯罪も頻発していますので、特に、早朝・深夜の外出、人通りの少ない道の通行は避けてください。

(ロ) 北方地域（管理ライン付近、アフガニスタンとの国境付近一帯を除く）

北方地域は、5 つの 8,000m 峰と数多くの 7,000m 峰が連なるパキスタン有数の観光地であり、例年、多くの外国人（特に日本人）旅行者が訪れています。同地域でかつて頻発していた宗教間抗争も現在は収まり、テロもほぼ皆無で治安は安定しています。しかし、同地域は道路事情が極めて悪く、落石や土砂崩れにより旅行者が死亡するケースも発生しています。また、北方地域への主要幹線道路であるカラコルム・ハイウェイでは、特に雨期の期間（7 月～8 月）、土砂崩れ等により道路が通行止めになることがよくありますので、陸路での移動を検討される場合には、事前に道路の状況や治安情勢などを十分確認されることをお勧めします。

このような情勢を踏まえ、イスラマバード首都圏及び北方地域（管理ライン付近、アフガニスタンとの国境付近一帯を除く）に発出していた危険情報を「渡航の是非を検討してください。」から「十分注意してください。」に引き下げます。ただし、今後とも、政治情勢の急変等によって、爆弾テロ等の脅威が高まる可能性もありますので、政治集会等大勢が集まる場所に近づくことは避けるなど、必要な安全対策を怠らないよう御注意願います。

3. パンジャブ州：「十分注意してください。」

パンジャブ州の治安情勢は、パキスタンの他の地域に比べれば比較的安定しているとされていましたが、このところ、以下のような事件等が発生していますので、警戒が必要です。

(イ) ラワルピンディ市

イスラマバードに隣接するラワルピンディ市では、2007年12月、リヤカット公園でブツ元首相を狙った銃撃・自爆テロが発生し、同元首相を含む少なくとも22人が死亡し、多数の負傷者が生じました。また直後に、同事件を受けて、市内を始めパキスタン各地で暴動などが起き、甚大な被害が生じました。ラワルピンディ市では、その後も、2008年2月、軍医大バスや軍幹部をねらった自爆テロ事件も発生しています。

(ロ) ラホール市

ラホール市は、パキスタンの主要都市の中ではこれまで比較的治安が安定しているとされていましたが、2008年に入り、高等裁判所前での警察官を狙った自爆テロ(1月)、海軍学校内での自爆テロ(3月)、連邦捜査庁庁舎内での自爆テロ及び高級住宅街での連続爆発事件(3月)が発生し、多数の死傷者が出ていますので、他の都市と同様に十分な注意が必要です。

(ハ) シンド州との州境付近

パンジャブ州各地で、武装強盗団(ダコイト)が出没しています。

特に、シンド州との州境付近でその頻度が高いので、夜間の通行は避けてください。

(問い合わせ先)

外務省領事局海外邦人安全課(テロ・誘拐に関する問い合わせを除く)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(外務省代表)03-3580-3311 (内線)5140

外務省領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐に関する問い合わせ)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311 (内線)3679

外務省海外安全相談センター

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311 (内線)2901

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯電話用: <http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

在パキスタン日本国大使館

住所:Plot No. 53-70, Ramna 5/4, Diplomatic Enclave 1,
Islamabad, Pakistan

電話:(92-51) 227-9320

FAX:(92-51) 227-9340

在カラチ日本国総領事館

住所:6/2 Civil Lines, Abdullah Haroon Road, Karachi, 75530,
Pakistan

電話:(92-21) 522-0800

FAX:(92-21) 522-0820